

もくじ

- p 1 ……VOICE …大見事務局長

- p 2 ……能登半島地震救援募金
- p 3 ……能登半島地震救援募金のお願いと送金方法
- p 4 ……女性のための登山教室
- p 5・6 ……近畿ブロック搬出技術講習会のご案内
- p 7～12 ……12月理事会議事録
- p 13・14 ……自然保護委員日より
- p 15 ……平和と登山
- p 16～20 ……冬山連絡会 関西近郊の冬山の事故について
- p 21 ……プルビチャチュ世界初登頂42周年 登山文化は今
- p 22 ……大阪府連 プルビチャチュ初登頂42周年記念集会のご案内
- p 23 ……山楽登山の世界 69
- p 24 ……事故一報用紙
- p 25 ……編集後記など

「山楽登山の世界」初登頂記念のつどいが3月に迫っていますので2連載掲載しました。初登頂の方を優先してNo. 70、次にNo. 69としています。

乗って残そう登山の足 (鉄道やバスの廃止問題)

年末年始は北信の山に登っていた。元旦に下山し、いつもなら風光明媚な北陸道で帰るのだが、なぜか長野道経由で帰ることにした。梓川SAで運転手交代の時に大きく揺れた。震源地での揺れはどれほどだったのか想像に絶する。

被災された方々には心からお見舞い申し上げますとともに、一日にも早い復旧をお祈り致します。

今回の山行は北陸新幹線が近くを走っており、鉄道で行くことも考えていたが、自動車は小回りが利くこと、割り勘で安くいけることから、今回も自動車を選択した。20年位前は夜行急行「きたぐに」や「ちくま」が走っていたが、今では廃止になっている。ホームで友を待ち、列車の中では友と酒を交わす。知っている他の会のメンバを探しまた酒を飲む。そんな文化が楽しかった。

JR西日本が最近発表したローカル線の赤字額は年237億円だという。一部をリストにした。これらの区間は将来について地元と話しあうとの事だ。鉄道は血管と同じでネットワークであるがゆえに、全体として機能する。バス転換と言っても運転手不足なので、即廃線もあり得る。どうにかならないのだろうか？

路線	区間	年間赤字	お薦め
山陰線	出雲市ー長門	44.5億円	
紀勢線	白浜ー新宮	28.5億円	
関西本線	亀山ー加茂	15.8億円	鈴鹿山脈、笠置ボルダ
小浜線	敦賀-東舞鶴	15.2億円	
大糸線	糸魚川-南小谷	5.9億円	後立山
越美北線	越前花堂ー九頭竜湖	8.1億円	荒島岳

登山者が乗車しても、たかが知れるが、少しでも協力できないだろうか？
知恵を出し合っていきたい。

・グループ切符の大幅ディスカウント ・鉄道と地元商店とのタイアップ等あれば嬉しい。
なお JR西日本は2023年に3年ぶりに黒字化(835億円)との事でした。

能登半島地震 救援募金

能登半島地震は日々報道されているように、甚大な被害をもたらしています。亡くなられた方々には謹んで哀悼の意を表するとともに、被災されたに方々には心からお見舞いを申し上げます。

現地ではライフラインの復旧にも時間がかかり、孤立状態が続いて安否確認もままなりません。2次避難の必要にも迫られています。

全国連盟では1月4日から石川県連をはじめ北陸地区の役員と連絡を取っていますが、思うように連絡と安否確認が取れない状況です。今、分かったのは下記の通りです。

日本勤労者山岳連盟は被災地の復興支援と労山会員の救援および救援活動のために、募金活動を開始します。各地方連盟役員のみなさまには、加盟各団体を通じて救援募金の呼びかけをお願いします。

2024年1月12日

石川県連内で現状把握できている被災状況と、石川県連としての対応についてご連絡いたします。

能登半島地震では幸い、石川県連会員に人的被害はありませんでした。

ただ被災者は10名弱おり、うち数名が避難所へ避難している模様です。

今後の支援に関しては情報収集の上、県連単位で出来る事を検討して実施して行きます。

支援については理事会にて

- ・現状最も有効な支援は義援金になるが県連単位では合意を得て集金に時間がかかる
 - ・会単位、職場などフットワークの軽いコミュニティで今すぐ出来る事をする方が良い
 - ・今後、人手の必要なボランティア募集が始まれば県連として参加する
 - ・特に体力が必要な作業、遠隔地への徒歩移動が必要な支援があれば組織的に参加を検討する
 - ・事務局で石川県へ問い合わせで有効な支援策を検討する
- といった意見が出ました。

これを踏まえて本日、石川県勤労者山岳連盟で石川県のボランティア募集に、団体事前登録をしました。現状は、県からの依頼待ちとなります。

石川県勤労者山岳連盟 浅瀬和人

本件問合せ先：日本勤労者山岳連盟

〒162-0814 東京都新宿区新小川町 5-24

電話 03-3260-6331 FAX 03-3235-4324

メール jwaf@jwaf.jp

能登半島地震救援募金のお願いと送金方法

能登半島地震の被災者救援と復興のための救援募金をお受けしています。
余震の続く中、被災地の現況を見ると長期的な復興活動と救援が必須の状況です。
被災地の復興と労山の仲間の救援および救援活動のため募金をお受けしています。
送金方法は下記のとおりです。

日本勤労者山岳連盟は皆様の救援募金を心より訴えるものです。

2024年1月 日本勤労者山岳連盟

記

■送金方法

①現金持参 全国連盟事務所

日本勤労者山岳連盟 電話 03-3260-6331

〒162-0814 東京都新宿区新小川町 5-24

(JR・地下鉄 飯田橋駅 下車 徒歩10分)

飯田橋駅から目白通りを江戸川橋方面へ歩いて大曲バス停手前の
コンビニ(ローソン)の角を曲がり約50m歯科医院の角に入る。)

②現金書留 全国連盟宛

日本勤労者山岳連盟 電話 03-3260-6331

〒162-0814 東京都新宿区新小川町 5-24

③郵便振替

加入者名：日本勤労者山岳連盟

記号・番号：00130-3-6738

※払込取扱票の備考欄に「能登半島地震 義援金」と明記ください

④金融機関からの送金

【ゆうちょ銀行】 店番「019」 預金種目「当座」

店名「〇一九店(ゼロイチキユウ店)」 口座番号「0006738」

ゆうちょ銀行口座からゆうちょダイレクトでこの口座に振込む場合、振込手数料は無料。
その他の金融機関からこの口座に振り込む場合→ゆうちょ銀行 店番「019」を入力→
「当座」を選択→口座番号「0006738」を入力→「日本勤労者山岳連盟」もしくは
「ニホンキンロウシャサンガクレンメイ」の表示を確認。

☆いずれの場合も報告書作成の都合上、匿名を希望の場合以外は「個人氏名または団体名」
「住所・連絡先」をお知らせください。【ゆうちょ銀行】へ振込の場合は「日付と金額」
もお知らせください。当面の集約は2月16日の予定です。

第 28 回(2024年)

女性のための登山教室

<初心者編>

主催:大阪府勤労者山岳連盟・女性委員会

- ◆対 象 山登りの基礎を学びたい健康な方
- ◆募集定員 10名 (定員になり次第締め切ります)
- ◆受講料 5,000円 (テキスト代・保険代含む)
*実技に掛かる交通費、飲食代等は別途必要です
- ◆講習日程



座学 (労山事務所) 19:00~21:00 (受付 18:45 より)		実技 (山行)	
2月22日(木)	オリエンテーション・装備・食料	3月17日(日)	六甲
3月1日(金)	地図・トレーニング法	3月24日(日)予備日	六甲
3月8日(金)	天気・救急法・実技説明等	3月31日(日)	大岩岳
		4月14日(日)予備日	大岩岳

◆座学会場 大阪労山事務所

〒553-0006 大阪市福島区吉野3-2-36

一般社団法人大阪宣伝センター機関誌会館内

◆受講申込方法 下記申込書(申込内容)をメールまたはFAXでお送り下さい

*注意 山行中の方が一事故・怪我については自己責任を基本とし、出来る範囲の応急処置はしますが、その後の処置については保険の範囲内とさせていただきます。諸般の事情により中止の可能性有ります。

お問い合わせ・お申し込み先

笠井 メールアドレス yama.yao-1951@docomo.ne.jp TEL: 090-5462-5453

TEL/FAX の場合は川上まで 06-6886-1267

申 込 書

住所: 〒

TEL・FAX

E-Mail:

緊急連絡先番号

(続柄:)

ふりがな

氏名 生年月日:西暦 年 月 日 (歳) 血液型: 型

・登山経験: ①なし ②ハイキング程度 ③登山経験あり () 年程度

・労山所属クラブの加入: ①あり(クラブ名) ②なし

第43回 近畿ブロック搬出技術講習会のご案内

初級コンパニオンレスキュー班【事前申し込み制】

- 日時 2024年4月6日(土) 8:30 受付開始 9:00~15:00 雨天決行
- 受付実施場所 大文字山安祥寺林道入り口(JR山科駅から徒歩30分 地図参照)
- 持ち物 山行時の装備一式、及び、ヘルメット、緊急時に備えて常々携行しているスリング、カラビナ、細引き(ヘルメットを除き無い装備はお貸しします)
- 内容 細引きの結び方、簡易ハーネスの作り方、カラビナスルー、事故者の所まで行くために細引きで丸結びを使った斜面の降り方登り方の技術習得
- 対象者 ハイキングの山行リーダー等の方で学んだスキー技術を会の中で伝達する意欲のある方。ハイキング等のリーダーの立場ではないが、これからレスキュー技術を学び有事の際にはメンバーの一人として力を発揮しようとする意欲のある方。
受講者最大60名で各府県連10名を限度とします。(10名に満たない府県連があれば60名以内で10名以上の府県連があっても良いです)
- 参加費 1000円
- 前夜テント泊は不可です。講習会実施場所付近は駐車不能です。山科駅周辺のビジネスホテル、コインパーキングをご利用下さい。
- 今回使用する講習会テキストは現地でお渡しします。

岩搬出、岩のセルフレスキューコース【事前申し込み制】

- 日時 2024年4月7日(日) 8:00 受付開始 8:30 ~ 15:00 雨天中止
- 場所 百丈岩やぐらおよび百丈岩周辺(JR道場駅より徒歩約30分)
- 内容 岩場でのセルフレスキュー、コンパニオンレスキューの実践を学ぶ。
- コース いずれのコースも事前受付となります。
 - ・岩班(初級者コース) 募集人員 6名
 - ・岩セルフレスキュー班 募集人員 3名
 - ・岩班(経験者コース) 募集人員 10名
 - ・尾根班 募集人員 10名
- 装備 ・ヘルメット*、ハーネス*、自己確保用装備*、確保器*、安全環付カラビナ*、デイジーチェーン又はパス*、カラビナ*、クイックドロワー*、スリング*、アブミ、ハンマー等
***は必須装備です** 上記の他、各コースとも一般装備(行動食、水筒、雨具等)必要。
- 対象者
 - ・岩登り山行リーダー等の方で学んだレスキュー技術を会の中で伝達する意欲のある方
 - ・「岩セルフレスキュー班」は搬出技術講習会の参加経験者で主に岩登りをされる方が対象です。
- 参加費 1000円
- 前回のテキストをお持ちの方は持参してください。当日、必要な方は500円で販売します。
- 前夜泊は鎌倉峡河原にてテント泊可能です。(場所に限りがあります)
- お車で越しの方へ、当日はたくさんの参加者が予想されます。出来るだけ公共交通機関をご利用下さい。車の場合は、道場駅前の駐車場もしくは鎌倉茶屋管理の奥の駐車場(いずれも有料)をご利用下さい。道場駅からやぐら前まで路肩は駐車禁止とします。百丈岩やぐら前は講習会場として使用しますので駐車できません。夜間遅くに来られる方は、近隣住民の方へのご配慮をお願いします。

ハイキング班【事前申し込み制】（

- 日時 2024年4月6日（土）
- 集合場所 かしはら万葉ホール 4階 研修室2
- 時間 9:30 受付、10:00～15:30
- 募集人員 60名（会ごとに集約し、府県連で人数調整して下さい）
- 内容 応急手当、ハイキングの搬出技術
- 装備 大きめのザック、ストック、三角巾、テーピングテープ、スリング（長短1～2本）、カラビナ 1～2枚（ヘルメットは必要ありません。スリング、カラビナは、ある方だけ）
- 対象者 ハイキングのリーダーとして、学んだ技術を会の中で伝達する意欲のある方

各コース共通事項

- 参加条件：労山基金、又は、それに準じる山岳保険加入者
- 雨天の場合は各コース要綱をご確認下さい。前日の夜の21時時点で警報発令時は中止します。
- 講習中の事故等に対しては自己責任でお願いいたします。
- 各コースともヘルメットのない方は参加できません。（ハイキング班は未定です）

申し込み方法

申し込み締切日：3月3日（日）先着順で募集人数に達した場合は締め切りさせていただきます。
参加ご希望の方は所属会に申し込んで下さい。会は参加者を集約して集約申込書を下記メルアドに送って下さい。
なお、参加ご希望の方は個人ごとに事前申込書を下記メルアドに送って下さい。

★<https://forms.gle/9YTVtMW9EM577Qg48>

問合せ先 kyujotai@osaka-rousan.com
大阪救助隊

初級コンパニオンレスキュー班 受付場所、講習会場所



受付、集会場所：安祥寺林道入り口
山科駅から歩いて30分

講習会場所

車で来られる場合は山科駅周辺のコインパーキングに停めて歩いて受け付け場所まで来て下さい。
講習会場所にトイレはありません。ナチュラルをご承知おき下さい。

開札口を出て東側のトンネル通路を通して駅の裏口に出て下さい

2023年12月21日 大阪労山理事会議題

—— 事務局 ——

■来年度の役員体制

・常任理事 総会に複数代議員を出している会から 当番制で良いので選出を。

■本日12月の冬山連絡会のあとに 事務所での忘年会 ・会費 500円

■事務所転送電話問題 変更方法を確認する

●大阪労山総会 2024年3月10日(日) 国労会館

・プルビチャチュ初登頂42周年記念集会 を総会のあとに引き続き行う件

中川さん事務局より…名簿整備完了・隊での実行委員会のようなものが出来ている・12/14に記念行事発起会開催・

講演会の主旨は ・この登頂は、大阪労山の歴史にさんぜんと輝く出来事であり、未来に引き継いでいくべき成果。

・関係者は高齢の域に達しておられ、山や会からの距離が遠くなりつつある。この機に、関係者を大阪労山の仲間であらうと、当時の意気込みをたどり、我が大阪労山の将来を展望する糧としたい

・30人くらい集まれる部屋を追加 予約する(午後のみ)

これに伴い 総会の終了時間を 40分ぐらい前倒しを考えます

議事日程

会場設営(各会担当者・役員・常任理事) 9:00 ~ 9:15 (15分早める)

受付開始() () 9:15 ~ 9:45 (15分早める)

開会宣言・会長挨拶() 9:45~ (15分早める)

議事日程及び議長・書記の任命提案()

議長…昨年の総会で確認(大阪志峰会) (大阪ぼっぽ会) 書記 ()

議長挨拶

総会役員選出

資格審査委員() () 常任()

選挙管理委員() () 常任()

議事運営委員() () 常任()

来賓あいさつ ()

祝電メッセージ紹介()

議案 提案

10:15 ~ (25分早める)

第1号議案 情勢・活動報告・

方針 ()

第2号議案 決算報告

監査報告 () ()

第3号議案 予算案 提案

昼食・休憩 11:40 ~ 12:20 (20分早める)

各部部長補足説明 12:20 ~ 12:30

討論 12:30 ~ 14:00 (60分早める)

議案採択

新役員選出・投票、開票結果発表

(休憩)

新任役員紹介 ()

代表挨拶 ()

議長団解任 ()

永年功労賞授与 ()

議長推薦 () () ・決定

閉会あいさつ ()

14:45 閉会予定 (40分早める)

総会へのスケジュール案

1) 総会資料・総会資料 各部 議案書第一次案 提出 1月15日(金) (昨年は1月13日)

・ 常任理事会 1月18日(木)①代議員登録と2月代表者会議

・ 3月総会の招請状の作成 議案第一次案印刷 代表者宛名カードの作成

・ 総会資料 初稿完成 1月24日 (昨年は1月25日)

・ 理事会 1月25日(木) 第一次案議案を配布したいところ

・ 議案書第一次案+①を発送 1月31日

・ 常任理事会 2月15日(木)

議案書最終案の討議

・ 代表者会議 2月22日(木)

2) 会計

・ 事務所使用料の請求 1月28日(日) ・ 各部 各種学校会計 1月31日締め

・ 決算/予算書一次案作成 2月15日(木) 常任理事会

◆ 2月17-18日全国連盟総会 代議員3名 (2名は全国から交通費がでる) 大西常任理事参加
(あと2名は1月の常任で決定)

—— 組織部 ————

1. 11月末の組織数の提出

12/10 現在、45会から組織数提出がありました。〆切は12月14日(木)です。

2. 脱退届

12/8 山の会ポレポレから脱退したいと連絡がありました。移籍の話をしたが、脱退（解散）の方向は変わらないようです。脱退届の作成・提出をお願いします。

—— 子どもの冒険学校 —————

・ 2024 / 1 / 28 (日) イン谷で 雪の冒険学校開催 現在子ども 20 人 (現在 30 人に)
応募有り スタッフ募集しています

—— 自然保護委員会の報告 —————

11/23、自然保護観察会・和泉葛城山・報告

記：自然保

護・澤村

講師：田中正視 大阪府自然環境保全指導員（元高校理科教師）

参加者：八尾・5人、豊中・4人、泉州・3人、雑木・2人 計・14人＋先生

田中先生のお話は、予想通り、草花の紹介だけではなく、関連する話題をふんだんに織り交ぜたいへん楽しいものでした。下記は、参加者の感想文を参考にまとめました。

●和泉葛城山のブナ林は、日本で第1号に国の天然記念物に指定されたものでかなり価値がある。

朝ドラ・らんまん：牧野富太郎に懇願したようです。

ブナを保全するために様々な方が関わりいろいろな取り組みをしていることが分かった。ブナ1本1本に番号が付けられ、巡視管理が行われ、天然記念物（コアゾーン）の周辺森林（バッファゾーン）を含む保全、ブナ林の保護と増殖のための調査活動などである。近年では、努力なしでは森林は守られないということである。そんな人々の努力を台無しにしたのが2017年、樹齢300年この辺りでは最古のブナの大木の伐採である。それも天然記念物であるブナを、文化庁の許可なく、、、ひどい話である。

Yahoo 記事：和泉葛城山ブナ伐採、朝日新聞をご覧ください。

ぶなは、高さ20cmまで育つのに約20年、1mほどになるには約40年要する

ぶな⇔シデの樹皮の違い。シデは縦模様、ぶなは地衣類（細菌みたいなもの）が共生している。

ぶな⇔ミズナラの葉っぱの違い。即脈の先端は葉のふちの谷にいたる。 図 - ①をご覧ください。（理事会資料参照。写真は削除しています 高橋）

●タラヨウ(多羅葉)は「はがきの葉」言い、葉の裏を爪楊枝でひっかくと黒くなるので文字が書ける。切手を貼り住所を書くと自宅に届いた、とのこと。 写真 - ①をご覧ください。（理事会資料参照。写真は削除しています 高橋）

●リスのお話。松ぼっくりの鱗片の根元に小さな黒い種が2つあって、それをリスが食べる。食べた後をエビのしっぽと言う。 写真 - ②をご覧ください。

●笹の葉っぱの裏はモフモフ、寒さから守るためだって。

●山頂近くにカメラを設置すると、しかが写っていた、とのこと。今は冒険者がひとり和泉

の山にやってくるがそのうち、兄弟たちもやってくるのでは？これは心配。

●この泉州あたりの地質や地形の話があってびっくりした。大阪北部より新しい中生代から白亜紀の地質で、海から押されて隆起し、雨風でけずられたので、和歌山川は急斜面で谷が深いそうです。

●宿の谷の上部の明るい斜面はニリンソウの宝庫。

図 - ① 即脈が違う（理事会資料参照。写真は削除しています 高橋）

—— 平和と登山 ——

第 53 回戦跡ハイキング 11 月 25 日（土）

舞鶴赤レンガ記念館～大江山山系杉山・宇野ヶ岳

第 53 回戦跡ハイキング、天候等の諸事情で行程を変更して「舞鶴赤レンガパーク～大江山山系杉山・宇野ヶ岳」を実施しました。参加者：吹田 3 名、きたろう 2 名、くまごろう 1 名、泉州 1 名 計 7 名、天気予報は雨のち曇りでしたが、ほぼ一日、時々晴れ間がみられるなど天候に恵まれました。舞鶴赤レンガパークの建物は 1902 年ごろに建てられた物、レンガの建造物の持つ魅力や歴史に触れることができました。壮大に 8 棟が並んでいる赤レンガ館、港にレンガ館と潮風が出会う町の雰囲気伝わって良かったです。杉山～宇野ヶ岳は宮津エコガイドの中川昭一さんに案内していただきました。100 本以上のの巨大杉群に圧倒され、宇野ヶ岳から宮津湾、天橋立への眺望が素晴らしかったです。歴史ある街歩き、自然豊かな大江山山系の山歩き、7 名の楽しい丹後の一日でした。（大西清見）

戦跡ハイキング（赤レンガ記念館と宇野ヶ岳～杉山）の感想

参加者（7 名）大西清見・園敏雄・石野明子・日置勲

泉田靖子・夷愛子・又吉千智

25 日、予定通り 6:45 分大阪駅で集合し、一路宝塚～舞鶴方面へ。曇り空の為か？猛暑の影響か？車窓から見る紅葉は色づき悪くイマイチである。ところが、舞鶴自動道に入ると青空も見え始め、一面自然林の里山は見事に全山紅葉し色づきも良く右に左にと楽しむ事が出来、素朴な里山の美しさを改めて見た気がした。

9 時過ぎ、楽しみにしていた念願の舞鶴赤レンガ記念館着。明治 36 年、フランス式レンガ工法での建築物との事。100 年以上も前にこれだけ精密で立派な建築物が人力で作られた事にも驚くが、これ程美しい状態で維持管理されていることにも感激したし、足元には魚雷でも運び込まれたのだろうか？昔のままの線路が微かに残っているのにも歴史を感じ、人の力の偉大さを思い知った一コマだった。

昼食は「とれとれ市場」で、イカのゲソやサバの丸焼きを初めて会ったメンバー 7 名で分け分けして同じものを食べたのも楽しい思い出。

昼食後は、青空で光る美しい日本海沿いを一路ガイドさんの待つ「普甲峠」へ。峠でガイドの中川さんと合流し、鍵付きの林道を終点まで登る。ところどころで参勤交代時に歩かれた道 !! 嫁入りの時に山越した道 !! はたまた万葉の時にも歩かれたであろう

う道 !! など説明を受け、林道終点からは数百年は経つであろう大杉の数々の説明を受けながら、苔むした静寂な山歩きを楽しんで宇野ヶ岳（694m）へ。宇野が岳山頂から見る天橋立は、名前の通り湾に橋を架けるようで見事だった。その後、オマケで風穴を見て杉山（697m）へ。

地元の方々が、今も歴史ある山を守るために鹿よけを作り、倒木の処理や整備など地道な作業を続けられていることに頭が下がり感謝の念を伝え 4 時半過ぎ、上宮津を後にした。

歴史の重みと同時に、近年話題の「鹿の害」で山肌がむき出しになり自然が荒れる様子を目の当たりにし、考えさせられる一日となった。（吹田岩山/泉田靖子）

案内して下さった中川昭一さん（1945 年生）

上宮津・杉山ガイド部会のホームページでの中川さんの紹介文です

私が子どもの頃から親しんだ杉山。近年ここに林道が開設され、苦勞なしに山中に入ることができます。ここには、300 年～400 年の樹齢を誇る天然杉の群落が残り、林道の開設で日当たりが良くなった法面には、新たに草木が芽吹き、杉山の生態系を縮図化したような状況になっています。最近になって、ここに生息する動植物の名前を覚えたこともあり、私なりにこの杉山への愛着心が大きく膨らんでいます。私の心の内を多くの方に届けたいと思うこのごろです。（上宮津・杉山ガイド部会）

—— 教育遭難対策部 ——

（1）活動状況・今後の予定

- 1）中級登山学校；1 月には来年の中級の活動のアウトラインができる予定
- 2）救助隊 ・11 月 11 日 ドローンを使った捜索訓練を実施。参加現状 6 6 人
@大岩岳周辺 ドローンで遭難者の上空に行きココヘリの信号を受けて位置情報（北緯、東経）を入手

その情報を元に地図アプリで現場に行き、ココヘリ親機で現場を捜索。誤差は 100m 程で、5 分で発見できた。皆 その威力を実感。

- ・1/29 雪搬出訓練
- 3）初級冬山登山学校 11/20 開校 受講生 5 名
- 4）初級登山学校； 次年度の打合せを予定している
- 5）兵庫との共催の筋トレ 兵庫 43 人 大阪 20 人の申込み。9/30 に六甲登山、10/14、21、11/18 にトレーニング指導。12 月に筋力測定を予定
- 6）転倒滑落停止研究会 ・11/25 日本山岳文化学会で研究会の成果などを講演し、好評。

演題：転倒滑落停止技術の開発 1

- ・12/3、実技 2 の研究山行を実施。 前への転倒、後ろへの転倒を本気で起こし、対策の検討・トレーニング方法の検討を行う。

7) 岩登り体験教室 10月18日 開校 受講生6人 11月12日 3回目の実技を終了。

8) 近畿B行事 ・雪崩講習会 10月10日から募集開始

<http://owaf.aikotoba.jp/kb|knadare.htm>

(2) 今年の教育遭難対策部の支出の件

10月の理事会で以下を承認頂く

- ・不動岩の落下危険岩の処置費用の件 1万円 一支払い済み
- ・前鬼川ボルト設置費 6万円 —— ボルト購入費を支払い済み
交通費は未払い(予定)

(3) 障登PTへの協力

中高年者の聴覚障がい者向けの講習会を開きたい。講師はほぼ決まり。

内容は兵庫労山の「登山の筋力測定と講習」のように、・中高年者の“山歩き”に必要な体づくり

- ・中高年者のため体カトレーニング
- ・2月 月一金か、または、1/27(土)13-16 たつの子会講演会
(今は講師まだ決まっていない)に入れても可能。
会員だけでなく、非会員を募集するつもりです。

(4) 冬山連絡会

日時:12月21日(木)19:30から (理事会終了後)

場所:ZOOMによるリモートと連盟事務所

担当:富永さん

内容:1)「冬山の気象」(高田さん)2)「冬山の事故」(中川さん)――

(5) 安全対策基金の来年度分申請について・昨年度分 払い込み完了

ハイキングセミナー、女性のための登山学校、はじめての雪山講習会(初級冬)、初級登山学校 障登PT、中級登山学校 山の教室 岩登り講習会

- ・今年度分 合計15万円 11月末に全国連盟に提出済み。12月の全国理事会で決定する

(6) 百丈ヤグラについて ・ウインチ更新申請 全国連盟で予算承認 ——>見積もり提出し、大阪府連に振り込み予定。

- ・エンフォーサによる測定の確立

主な意見

淀屋橋労山から労山ニュースHPで更新を、容量も圧縮してほしいとの要望があった。

14名の参加で忘年会を行いました。(文責:高橋明代)

自然保護委員だより

1. 憲章の実践 1月18日現在 沢村：sawadesu@ares.eonet.ne.jp までお願いします。

+ 鳥獣・らいちょう目撃レポート

目撃日時、場所、天候と動物の様子をメール下さい。写真があれば最高です。

ただし、標高500m以上での目撃に限ります。 ()：前期

らいちょう 18件(7件) 鳥獣 4件(7件) 昆虫 1件(0件)

環境省・いきものログ投稿：今年・14件 累計・64件 全投稿数・161件

+ 倒木対策 13件(5件)

登山道を塞ぐような倒木は、登山者にとって危険、また踏み荒らしの原因です。

除去および頭突きしそうな木にはテープで表示を！自治体および私に連絡してください。

1/3、泉州労山が飯盛山ハイイクで倒木をノコギリ処理



連盟主催として倒木対策を開催（ヤマザクラ観賞会付き）

日時：3月31日（日） コース：JR 六十谷駅～奥辺峠～雲山峰～JR 山中溪駅

+ 定点写真観察活動（山岳自然の異常現象とかゴミ問題など） 4件

11/5、泉州労山の澤村が御池岳ハイクで奥の平近くのシカ対策用柵2箇所の破損を目撃
滋賀県環境保全課に写真を添付の上報告。

2. 各会の報告

高槻：12/13、カタクリの下草刈り

豊中：12/9、万博公園でバードウォッチング開催

3回目、下見でなじみの鳥いなかった 去年 10種類

3. 各会の予定

豊中：2月3日 服部緑地でバードウォッチング 他会・クラブの参加 OK
北大阪急行、緑地公園駅西出口 9時

平和と登山のページ (2024年1月)

平和と登山委員会 文責：大西清見 (泉州勤労者山岳会)

第54回戦跡ハイキング 3月29日(金)～30日(土)

福知山・綾部・舞鶴…鬼ヶ城(山城)、舞鶴引揚記念館、五老岳

今回は一泊二日で京都府北部、福知山・綾部・舞鶴の山城、円墳、引揚記念館等を訪ねます。鬼ヶ城は16世紀に築城された山城、山頂からは福知山市街を一望できます。円墳は私市丸山古墳といい、舞鶴自動車道のトンネル上で発掘され京都府最大の円墳です。宿は2023年5月にリニューアルオープンされた、格安でとてもシンプルな施設(綾部市里山交流研修センター)、夜は各会の交流をしましょう。翌日は舞鶴へ、舞鶴引揚記念館と五老岳に。舞鶴引揚記念館は、第二次大戦終結後に旧ソ連夷によって抑留された人々の抑留生活を知ることができます。五老岳からは舞鶴湾が一望でき、近畿百景第一位に選ばれています。29日は平日ですが、日程に都合がございましたら是非戦跡ハイキングにご参加ください。参加を希望される方は早めに平和と登山担当の大西清見(泉州労山)まで申し込んで下さい。

日程 3月29日(金)～30日(土) 集合時間・場所は参加者で決めます。

コース 29日、マイカーで大阪―舞鶴自動車道―福知山市 IC―鬼ヶ城鬼―円私市丸山古墳―綾部市里山交流研修センター(泊)

30日、舞鶴(引揚記念館、五老岳)―帰阪

定員 12名 費用 約13,000円

申込締切 2月29日(木)

担当：大西清見(泉州労山、TEL・08014603884、e-mail・fwik1887@nifty.com)



あやべ綾部市里山交流研修センター



福知山市から見た鬼ヶ城(中央左)

今回は **比良や霊仙・伊吹など関西近郊の冬山での事故について**

OWCC 中川和道 climber-nak@bca.bai.ne.jp

教育遭対部からのお題：比良 霊仙 伊吹 など関西近郊の冬山での事故について

- ・大阪府連の事故事例集には 比良 霊仙 伊吹 は十分な記述なし

↓

近郊の山の事故とは

- ・近郊の山の事故：**今 大きな大きな話題です**

コロナ明け 大きな山に行けない ∴ まず近郊の山から

↓

→ 高い山にはこれ以後に

近郊の山で起こりそうな事故を予測し、予防を考察する

1. 下山終了まぎわに アイゼンはずした → バス停近くで凍っていたが、すぐなので、そのまま歩いた → はげしく転んで骨折
→ パーティーで対策を話し合ってから行動する
→ チェーンアイゼンも持っていくか？

穂高でも 金剛山でも

2. 雨 雪 みぞれ にやられやすい → 低体温症がこわい

中川 藤原岳 荒島岳 でもやられた

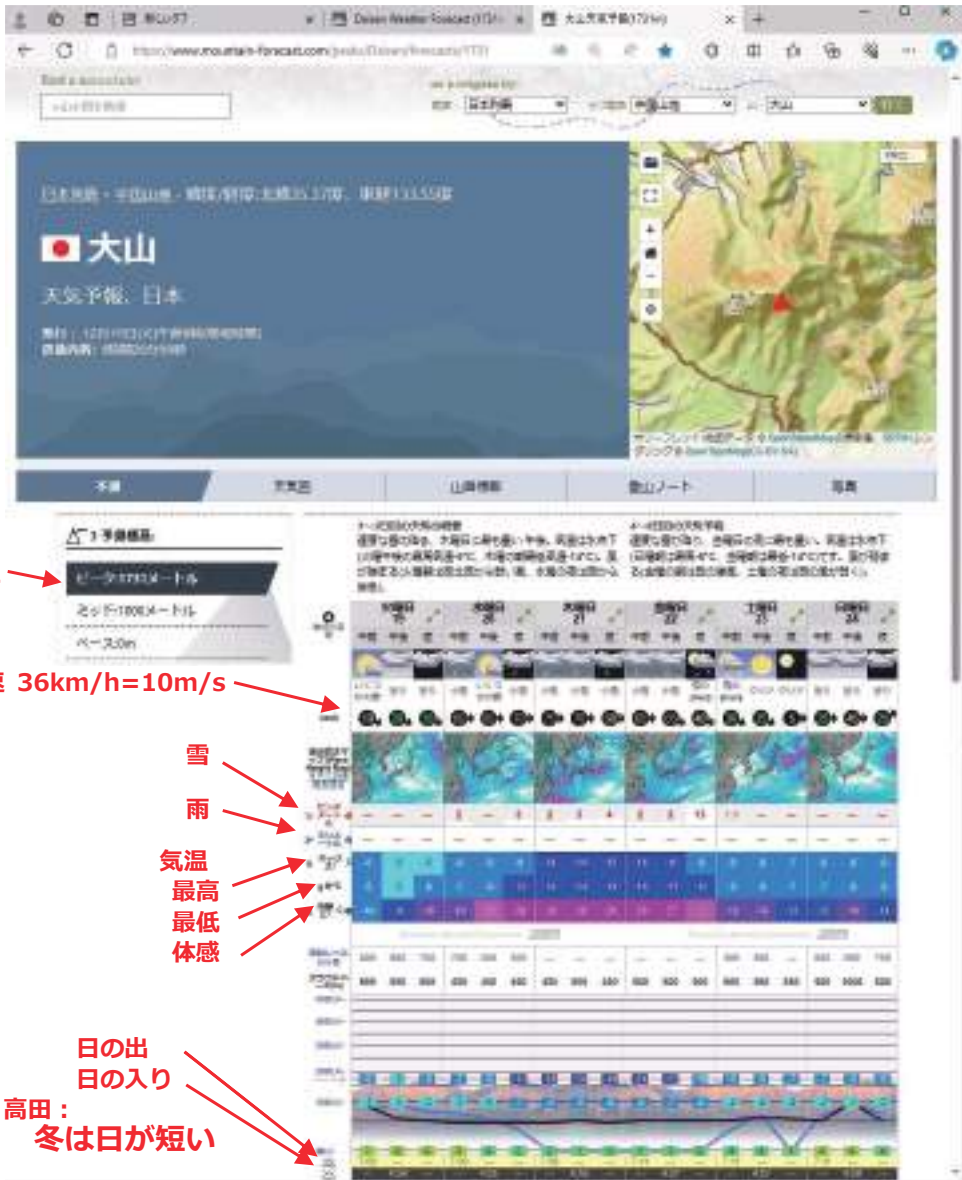
- ・ツェルトをかぶって火をたく
- ・そもそも 雨か みぞれか よんでおく

雨と雪の両方が分かる天気 Web サイト 高田さんからの教え

今も ヒマラヤでも

Mountain Weather Forecast を使おう

3. **Mountain Weather Forecast** で
 で検索 カッパ か ヤッケかを 決めましょう



落とし穴が **頂上は雪 だから 雨具はいらないか? と思いきや**

6. 遭難事例研究 レスキューの有料講座 ツェルトをかぶって低体温症を防ぐ

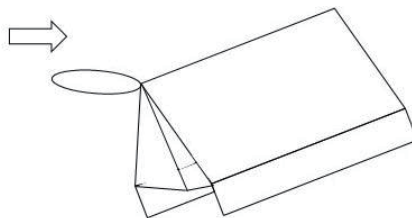
(1)必要になるもの(ツェルト、コッフェル、コンロ、防寒衣服など)は、

あらかじめ 取り出しやすいようにパッキングしておく

みろく山の会の経験を学ぼう

(2)リーダーは:

- ・ 風を背に立つ
- ・ ツェルトの飛び止めヒモを肩に
かける→ツェルト展開
- ・ 入口：風上に 底：開く



(3)要救助者：風下に ザックに座って

もらう 着替えなど出しておくとよい

(4)ツェルトをかぶって 2 人とも中に入る 頭と頭でツェルトを支える

(5)火をたく

要救助者が震えはじめる 人間に戻る証拠 この時、足を急に激しく動かす
など、思いがけない行動の可能性が 火やお湯を蹴られないように

(6)夏の寒い雨(トムラウシ

2009/7/16)でも有効。

中川は 12 月の不帰岳の
吹雪、2 月の荒島岳のみ
それぞれでやられた。

鈴鹿 藤原岳でも

(7)事前に練習を。失敗が

多いので。

(8)お金払って 500 円

山の教室「遭難事例研究」

で学んで下さい



2022 年 11 月 15 日 「遭難事例研究」の実技風景

7. ホッカイロを **3日間4日間**もたせる

海拔 2000m では気圧 800hPa→酸素量は $800/1013 = 80\%$ に減る

$$20 \text{ hours} \times \frac{1013 \text{ hPa}}{800 \text{ hPa}} = 25 \text{ hours}$$

20 時間カイロ 25 時間もつ
8 時間/日なら 3 日もつ

海拔 3000m では気圧 700hPa→酸素量は $700/1013 = 70\%$ に減る

$$20 \text{ hours} \times \frac{1013 \text{ hPa}}{700 \text{ hPa}} = 29 \text{ hours}$$

20 時間カイロ 29 時間もつ
8 時間/日で 4 日もたせる

それには、酸素を しゃだん して化学反応を停止させればよい。

貼るカイロはもともと半面 窒息。



酸素を遮断。ジップロックは失敗した。

ブルビチャチュ世界初登頂 42周年-登山文化は今・・・

OWCC 中川和道 20240118

ブルビチャチュPhurbi Chyachuとは、ネパール語で「東方のこうもり」。首都カトマンズの丘に登ると、東の方角に、この山が、こうもりが羽を広げた姿に見えるらしい。何ともいい名ではないか。ヒマラヤはサンスクリット語で「雪の住み家」。「神々の御座」との呼び名もあり、登山文化の豊かさをひしひしと感じる。

そのブルビチャチュに、安田一郎隊長以下19名の労山大阪府連-ネパール登山協会隊が世界初登頂を果たしたのは、今から42年前、1982年5月1日(第1次隊7名)と5月3日(第2次隊9名)のことだ[1,2]。勤労者の社会参加が進み、労山が生まれたのが1960年。右肩上がりの登山ブームを追い風に、労山大阪府連隊の初の高所登山[3]はハンチントン(カナダ 3731m) 西壁のクライミング。織田博志隊長他3名がアルパインスタイルにより2ビバークの末、完登した。織田は1981年のチョー・オユ-8201mに全国連盟・ネパール合同隊(小松猛隊長)に参加。大阪労山から初の8000m峰登山への参加となった。1977年全国連盟ナンダデヴィ7816m登山隊に吹田労山の樋田洋が参加、1978年全国連盟のガネッシュヒマールIV峰(パビール7102m 吉尾弘隊長)に大阪労山からは安田、鈴木、下地の3名が参加。ネパール人を単なる使用人としてではなく対等平等の合同登山隊として登らんとする労山全国隊のその気運は大阪労山に根づき、1982年のこのブルビチャチュ世界初登頂に脈々と流れつき合同隊の結成に至ったと、安田は語る。

8000m峰は商売になる。早朝暗いうちから固定ロープを張るのは、大量雇用されたネパール人である。アルパインクライミングの偉大な課題「8000m峰の冬季初登頂」では、そのあまりにも膨大な苦労や貢献にもかかわらず、ネパール人が登頂メンバーに選ばれたことはこれまでなかったと、近藤和美は語る[4]。少なからぬ人々が嬉しく感じたのは、最後まで難攻不落を誇っていたK2冬季初登が、2021年1月16日に、ネパール人隊によってなされたことだ[4]。中川もこれは嬉しかった。何しろ、ニルマル・ブルジャという逸材がいる。彼は2019年、わずか半年で8000m峰14座を登ってしまったのだ。「ネパール人登山家の自立」、これは登山文化の新しい側面として楽しみで、この時代に生きておられる幸せを感じる。

42周年記念集会は、府連の第62回総会3月10日(国労会館)に引き続いて15時から開催される(次ページのポスター参照)。集会では、隊員トークに先立って、近藤和美氏が記念講演「高所登山-これまでとこれから」を行う。8000m峰9座に登頂した近藤氏は、これまで数百人もの登山者を導いて高所を駆け巡ってきた。その体験を縦横に語ってくれればと期待が高まる。

1982年ブルビチャチュ隊は、半年で1000km走ったメンバーが3人、登山期間2か月で物資は3.5トン。教育委員会から推薦をもらい現地で学校交流、卸売り市場のおっちゃんが1万円カンパくれてがんばれ!とか。吹雪の中でカメラを開けてネガフィルムを詰め替えての撮影。8ミリ映写機も回したんかい? 蒼い氷にピッケルをはじかれながらのカッティング。4000m固定ロープを自身でセット。スノーバー100本ハーケン100枚・・・おもしろい話に湧きそうで、今から楽しみだ。

[1]大阪府勤労者山岳連盟-ネパール登山協会合同登山隊『ブルビチャチュの蒼い氷』、1984年8月。

[2]大阪府勤労者山岳連盟隊「ブルビチャチュ登頂の記録」、『山と仲間』1982年8月号。

[3]大阪府勤労者山岳連盟ホームページから「海外登山」ページの「大阪労山における海外登山50年史」を参照。安田一郎が前半のもと原稿を書き、林孝治が完成させたという。

[4]近藤和美「機を見るに敏!ネパール隊 投機未踏のK2速攻 無酸素登頂者も!」、『登山時報』2021年5月号。

労山大阪府連・ネパール合同登山隊 **ブルビチャチュ初登頂 42 周年** 記念集会

1982 年 5 月 1 日、労山大阪府連 16 名-ネパール登山協会 3 名の合同登山隊は、シユガールヒマラヤの未踏峰ブルビチャチュ 6658m に第 1 次隊 7 名が世界初登頂。5 月 3 日の第 2 次隊 9 名と合わせて合同隊 19 名のうち 16 名が登頂を果たしました。初登頂から 42 周年の機に、3 月 10 日、記念集会を開催します。どなたでもご自由にご参加下さい。



2024 年 3 月 10 日(日)
15 時-

- ・ 国労大阪会館(JR 大阪環状線 天満駅 3 分)
- ・ 記念講演 近藤和美氏
「高所登山 これまでとこれから」
- ・ 隊員トークの会
- ・ 懇談会
- ・ 大阪府勤労者山岳連盟
06-6467-8544



人生何度目もの大地震 1

OWCC 中川和道 20240113

2023年末に八ヶ岳小同心を登り、早めに帰宅したら、2024元旦に能登半島地震。お正月に、何ということだろう。老クライマー中川にできることはもう多くはないが、何とか支援しよう。合わせて、これまでの大きな地震体験を登山者の目で思い起こし、語り継いでいこう。

阪神・淡路大震災 19950117-5:46 MW=7.3 死者6434名 被害額10兆円規模

市役所に勤務しておられたクライマー仲間Aさんのことを、ぜひ、語り継ぎたい。職員を災害支援に公式に派遣する動きが一般化する前だ。Aさんは間髪を入れず休暇をとった。すごい。ソロテンを担いで神戸市北区だったけ、交通寸断による孤立地域に5時間ばかり歩いて入った。もちろんボツカ態勢でだ。避難所の片隅にソロテンを張り救援活動をした。2024年1月6日NHK「石丸謙二郎の山カフェ」で紹介のとおり、登山者には多くの「小技」がある。Aさんもそれを存分に発揮した。(1)まずたき火、次に(2)薪を燃やして大鍋でご飯やみそ汁を多人数分作ったが、電気釜ガス釜の自動調理しか知らない方々には高いハードル。水加減火加減とはと丁寧に指導し、自分たちでできるようになったら、はい、次の避難所に移り、また自立調理を伝授していったとお聞きした、(3)水が不自由な現場で食器や調理器具を洗うのに、紙で拭いてきれいにしたら目を丸くして驚かれ、これはいいと直ちに習得してくれた、(4)食品の油脂は融点60℃だからお湯でとかし、えいっと捨てれば洗剤はぼやらず、紙で拭けばそれでよし。私ら、山でいつもやってるやん。(5)Aさんは、水を濾過して飲み水にすることもやったらしい。(6)さらに、彼は優れたリーダー。個人々々の得意を見抜いて役割を振り、達成感をもってもらいながら集団で作業をやったと聞いた。

慌たしい昼が過ぎた何日めかの夜、避難所の方がAさんのソロテンに来て尋ねられたという、「Aさん、給料も出ないのに、何で、ここまでやってくれるんですか?」「ワシは今は体が動かしいろいろ役に立つ知識も多い。だから、みんなを、今、助けている。ワシが年取って動けない時に災害に遇ったら、あんたらとかあんたらの子どもに助けてもらいたい。世は『助け助けられ』だ。よろしく頼む。」とAさんは答えたらしい。その方は「いや、これで気が楽になりました。今は、ぜひ、助けて下さい」と言われ、いい雰囲気だったという。OWAFの若い仲間に、ぜひ、語り継ぎたい。Aさん、あんたは偉い!と。

中川はその頃、神戸大に泊り込み、震災対応に連日あたっていた。同じことを感じていたものだ。中川もAさんも今は70代半ば。助けてもらわないとダメな災害には、幸い、遭わずにこれまではすんできた。今回の能登半島地震、何か、やれることをやっておこうと、阪神・淡路大震災を思い出した。

労山全国の行動は速かった。1点だけ事例をあげると、ロックガーデンの崩壊実状の調査が『登山時報』誌に載り、労山の本気度を実感した。編集長は西本武志さん。川上洋子さんも調査にご参加でしたっけ。

東日本大震災 20110311-14:46 MW=9.0 死者22318名 被害推定額16-25兆円 放射線被害

登山者として、放射線の専門家として、中川が歯ざしりせんばかりに悔しかったことを1点、あげておく。それは、復興にあたる重機のガソリンが底をついていたが、放射性セシウムのホコリが舞う地域で放射線被害を避けてガソリンを輸送する方法はないとされたため、ガソリンスタンドが空になり、被害が拡大してしまった状況を見てのことだった。皆さまの生活実感のとおり、現在の自動車の換気性能は極めて高く、トンネル走行のさい、粉塵や匂いを人間が吸い込むことはない。車のドアを開けたり外に出てホコリを身にまとうことさえ避ければ、ガソリンを届けることは、放射線科学の観点からは、可能であった。放射線化学会会長をやっていた中川はこの旨を発言しようとしたが、機会を逃した。悔しくてたまらない。聞けば、広島大原爆研究所の星教授も同じ見解だったらしい。深い後悔を胸に、中川は、福島放射線測定を今も続けている。

事故一報

提出者	氏名		会員番号		地方連盟	大阪府 勤労者山岳連盟
	団体名					団体番号

事故者	氏名		会員番号		年 齢		性 別	
------------	----	--	------	--	-----	--	-----	--

事故発生日時	年 月 日		時 刻		<input type="radio"/> 有雪期 <input type="radio"/> 無雪期
---------------	-------	--	-----	--	-----------------------------------------------------

事故発生場所	山 域		都 道 府 県	
	山 名			(標高 メートル)
	場 所			

山行の形態	
	手書きの場合は下記いずれかに○
	無雪期登山 積雪期登山 登攀 冬季登攀 沢登り 氷瀑 人工壁 山スキー クロスカントリースキー スノーボード 海外トレッキング 海外登山 訓練

事故の原因	
	手書きの場合は下記いずれかに○
	転・滑落 転倒 落石(落水) 道迷い 病気 凍傷 高度障害 火傷 落雷 雪崩 虫・動植物 荒天 その他

パーティー人数		救助捜索費 <input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	ココヘリ加入 <input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし
----------------	--	----------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------

事故の状況	
--------------	--

傷病名	
------------	--

交付申請の予定	<input type="radio"/> する <input type="radio"/> しない <input type="radio"/> 未定	全国労山に提出とともに、大阪労山にも提出して下さい。 jikotodoke@googlegroups.com Fax 06-6467-8545
----------------	-----------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------

交付申請書	受 取 人	<input type="radio"/> 基金担当者 <input type="radio"/> パーティーリーダー <input type="radio"/> 会・クラブ代表者 <input type="radio"/> その他					
	送付形式	<input type="radio"/> 書面の郵送 <input type="radio"/> PDFファイルのメール送信					
	送 付 先	氏 名		会員番号		電話番号	
		郵便番号		住 所			
	メールアドレス(メール送付の場合は必須)						

★交付申請は、事故一報が**事故発生日から30日以内**に運営委員会に届いていなければできません。時効で交付資格を失わない為に、いま症状が現れていなくても、また交付の申請をするか判明しない時でも、事故発生の報告をしましょう。FAX 03-3235-4324 メール kikin@jwaf.jp

★**事故一報と共に、会に提出し受理された山行計画書のコピーを添付して下さい。**

〒162-0814 東京都新宿区新小川町5-24 労山基金運営委員会 7/24 イヤル 0120-44-2742(平日10時～18時)

OWAF メーリングリストのご案内

大阪労山の公式のメーリングリスト（以下、OWAF-ML）のご紹介です。OWAF-MLには連盟行事、伝達事項の案内や、各種登山学校や訓練、講習会の案内などが流れています。その他各登山道の状況、アルプスの山小屋情報、各会入山情報など、相互の情報交換の場として利用されています。大阪府連の会員であればだれでも登録できますので是非ご加入ください。

● 登録方法

公式な ML なので、登録は原則として各会でまとめていただいております。各会の登録担当者までご連絡をお願いします。担当が分からない場合は直接登録いただいても構いません。

● 各会登録担当者様へ

各会、代表・事務局長・理事の方は登録必須とさせていただきます。登録担当者を含めて各役職に変更があった場合にもご連絡をお願いいたします。また退会された会員の方のアドレスもご連絡をお願いいたします。



● 登録申請フォーム

<https://ws.formzu.net/dist/S91846322/>

登録申請フォーム

編集後記

新年早々の能登大地震。1月1日、サッカーのタイ戦が終わり監督のインタビューをTVで見っていたら…突如長い横揺れを居住の枚方で感じました。数日経って避難所のように愕然としました。マットもない冷たい床にじかに座っている方たち。水・電気などライフラインはとぎれたまま。阪神大震災以降十分な対策がなされていなかったということです。10年に1度は大地震が続いているにも関わらず、なぜこんな状態なのでしょうか。こういう時にでてくるのが自助論です。コロナの時に菅首相が言い放った言葉。自助・共助・地域で助け合いと。そんな表現ですましていいのでしょうか？明日は我が身です。居住地の防災対策は？大阪府の防災対策は？日本の防災対策は？あらためて見直し点検してほしい。

能登は私が大切に思っている地域です。七尾市には敬愛する仲代達矢さん率いる無名塾が建設の発端を作った「能登演劇堂」があります。2年前初めて観劇しました。舞台奥の大扉が開くと雄大な自然が広がる…他には例をみない舞台です。今年も秋に訪れるつもりです。文化と観光と温泉・食も豊かな能登がよみがえるようにと祈ります。支援募金にぜひご協力ください。（高橋明代）

今月も各会より会報を送っていただきました。

きたろうニュース（きたろうHC）、にしよど（西淀労山）、ぼんぼん山（高槻）、こもればい通信（（山の会こもればい）、福岡県連通信、労山おかやま、やまと友の会、京都労山、噴煙（鹿児島労山）、兵庫労山会報、県連ニュース（和歌山労山）

発行日 2024年（令和6年）1月22日 No.455（2024年2月号）

編集・発行 笠井、園、高橋、中井、中尾、大西